

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山中央

【計画】

作成担当者： 長友 智奈美

開催日時	平成31年01月11日 13:30 ~ 15:30	開催場所	谷山サザンホール
参加者	居宅介護支援事業所：13人、訪問看護ステーション、医療ソーシャルワーカー、医師、薬剤師、その他、地域包括支援センター職員：6人、その他、通所介護事業所：33人、訪問介護事業所：16人、通所リハビリテーション事業所：13人 総数 81人		
内容	テーマ	利用者その人らしい生活が見える自立支援に向けた連携について（生活機能向上連携加算の実働と連携について）	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築	
	概要	検討項目 ・実際の状況からの課題抽出（グループワーク） ・効果的に生活機能向上連携加算を運用するには？ ・意見交換、グループ発表	

【結果】

開催日時	平成31年01月11日 13:30 ~ 15:30	開催場所	谷山サザンホール
参加者	居宅介護支援事業所：12人、訪問看護ステーション、医療ソーシャルワーカー、医師、薬剤師、その他、地域包括支援センター職員：6人、その他、通所介護事業所：18人、訪問介護事業所：7人、通所リハビリテーション事業所：6人 総数 49人		
内容	【検討項目・内容】 ①事前アンケート結果報告 ・生活機能向上連携加算についての現状や連携について事前アンケートを行い、今回の地域ケア会議の目的や経緯についてアンケート結果や実際の圏域内事業所からの意見をまとめ、報告。 ②生活機能向上連携加算等についての説明、講話 ③連携の視点についての説明、助言 ④〈グループワーク1〉（30分） ●連携への期待や希望（15分間） ●連携についての現状や難しさ（15分間） 〈グループワーク2〉（30分） ●連携についての希望と現状のギャップをうめるために、各専門職ができること。 ⑤意見交換 各グループごとに意見発表 【成果】 ・顔の見える環境の中、前向きな意見交換を行うことで圏域内事業所間での繋がりができた。 ・当日アンケートを実施し、各内容について、殆どの人が満足したという結果となった。 ・当日アンケート意見より、各専門職の役割が何か？を気付ける機会になった。特に担当者会議の重要性やケアマネの役割を		
今後の課題など	・「共有ノートや私のメモリーノートの活用」「担当者会議の工夫」「リハビリ会議の活用」「成功事例や先進事例を学ぶ」等の貴重な意見やアイデアを実際いつ・だれが・どのようにして実践していくか？を検討していく必要がある。 ・自発的なアクションや事業所のモチベーションの維持のため、地域包括の役割としてできることはなにか模索していく必要がある。		